

⑥ 内陸避難者支援の推移と現状 外柳万里（もりおか復興支援センター）

■もりおか復興支援センターの概要

- 開 所：平成23年7月11日
- 場 所：盛岡市内丸3-46 盛岡市役所 内丸分庁舎1階
- 対 象：540世帯 1,037人（避難者数・令和元年9月10日現在）
- 受 託：一般社団法人 SAVE IWATE
- 事業概要：
  - ①被災者の住宅・生活再建相談と見守り
  - ②被災者の生活再建等に関する情報提供
  - ③関係団体との情報共有と連携した支援の実施
  - ④専門家による各種相談会や勉強会の実施
  - ⑤孤立をふせぐためのサロン・サークル活動の支援
  - ⑥盛岡復興推進しえあアパート村での学生寮の運営と情報発信
  - ⑦被災学生と内陸避難者による地域食堂を通じた交流と生きがいづくり
  - ⑧盛岡市内に生活の基盤を移した被災者のコミュニティ形成の支援



囲碁・将棋サークル

空見視察

手芸サークル

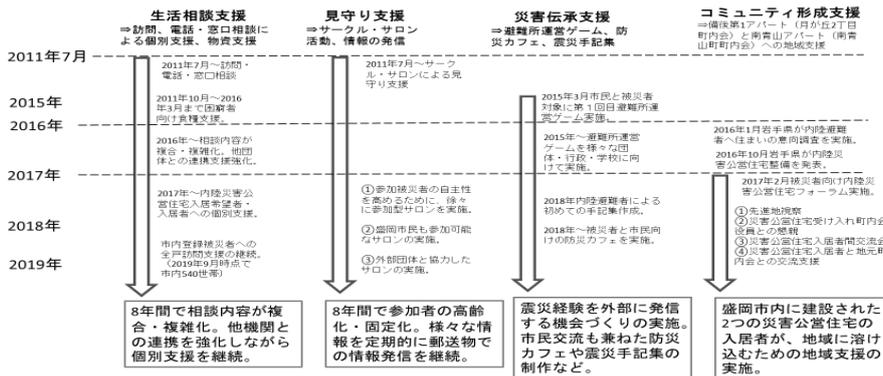
花こころクラブ

■被災者の内陸避難の動き

- 2011年3月11日 被災～一次避難  
指定地元避難所（学校体育館・自治体ホールなど）  
避難場所（地域公民館・被災しなかった地域の家など）  
在宅避難（被災を免れた二階部分など）  
遠隔地避難（盛岡・花巻・一関などへ）  
⇒仮設住宅の建設・みなし仮設住宅準備開始
- 2011年4月～ 二次避難（県内内陸部の温泉地・ホテルなど）  
仮設住宅・みなし仮設住宅（盛岡など）入居開始
- 2011年7月11日 もりおか復興支援センター開設
- 2011年7月末 仮設住宅の建設完了（被災地）  
※地元への帰還支援
- 2016年 内陸災害公営住宅の建設決定（盛岡・花巻・北上・奥州・一関・遠野）  
※避難元への定着支援
- 2018年3月～ 内陸災害公営住宅 入居開始（備後第1アパート8号棟など）

- 【内陸避難者の主な特徴】
- ①沿岸に比べて働き世代が多い（職場も被災し、内陸で就職先を探した人が多いため）
  - ②沿岸へ戻りたくても戻れない方が多い（職場や通院先が内陸にあるため、子どもが大きくなり学区変更が難しいため、高齢者の場合、親族のいる内陸から離れて沿岸で一人暮らしが難しいため）
  - ③内陸避難者同士の繋がりが薄い（点にしているみなし仮設に数年間入居し、互いに接触する機会が乏しかったため、岩手県・宮城県・福島県の被災元が異なる人たちが内陸へ避難しているため）

■もりおか復興支援センターの支援フロー



- 【盛岡市の被災者支援の主な特徴】
- ①震災後の2011年に盛岡市役所内に被災者支援を管轄する部署が設立。（盛岡市危機管理防災課）
  - ②岩手県内で唯一被災者支援を社会福祉協議会ではない団体が実施。（もりおか復興支援センターは、一般社団法人SAVEIWATEが盛岡市から事業を受託して運営）
  - ③行政機関や市内外にある様々な団体との連携が多い。

■岩手県内の災害公営住宅進捗状況

		岩手県整備分			市町村整備分			県内合計		
		地区	戸数	進捗率(完成)	地区	戸数	進捗率(完成)	地区	戸数	進捗率(完成)
沿岸	建設予定	53	2,595	100%	151	2,955	99.7%	204	5,550	99.8%
	完成	53	2,595		149	2,945		202	5,540	
	工事中	0	0		1	3		1	3	
	工事未着工	0	0		1	7		1	7	
内陸	建設予定	8	232	37.1%	4	51	90.2%	12	283	46.6%
	完成	5	86		3	46		8	132	
	工事中	2	47		1	5		3	52	
	工事未着工	1	99		0	0		1	99	
合計	建設予定	61	2,827	94.8%	155	3,006	99.5%	216	5,833	97.2%
	完成	58	2,681		152	2,991		210	5,672	
	工事中	2	47		2	8		4	55	
	工事未着工	1	99		1	7		2	106	

**内陸災害公営住宅**  
※盛岡市、花巻市、遠野市、北上市、奥州市、一関市の6市に内陸災害公営住宅が建設。

【盛岡市】  
**2018年3月県営備後第1アパート**  
⇒3棟、50戸  
⇒現在、48世帯が入居中。  
⇒月が丘2丁目町内会に入った。

**2021年2月県営南青山アパート**  
⇒2棟、99戸  
⇒南青山町町内会に入る予定。  
⇒被災3県で一番最後の完成。

